

## ■ 日本語日本文学科のアドミッションポリシー

### ■ 学科のめざしているもの

本学科のカリキュラムは、古典籍を活用し歴史的文化への理解を深め、近現代文学を素材として人間の思想や感情とその表現の理解を試みる<日本文学分野>、現代のコミュニケーションのあり方を探究し、日本語のしくみについて考える<日本語学分野>、国語科・書道科教員としての実力を養成する<言語文化分野>、この三分野から構成されています。本学科では、長い歴史に培われた日本の文化を理解し、また、現代日本を成り立たせている日本語表現の実際に触れながら、柔軟な思考力・判断力といった社会における基礎的な力を養い、自ら発信できる人材の育成をめざしています。

### ■ 上記の教育目標をかかげて、日本語日本文学科ではこのような人を求めています

- (1) 日本人の心・ことば・感性・思考などに関心を持ち、その本質を深く探究しようとする人を求めています。
- (2) 自ら問題意識を持ち、探究しようとする意欲のある人を求めています。
- (3) 自らの内面や思考力・表現力を高めることをめざしている人を求めています。

### ■ そのために、高校での学習内容については、次のことを求めています

日本の文化・日本語に興味をもって学ぶことはもちろんですが、さらに関心のある事柄については、日本文学や日本語学に限らず、積極的に学んで知的な視野を広げていただきたいと思います。そのためには、国語に限らず、高校での学習全般が生きて役立つものになります。